探究ＴＲＹ　各国は「中華」とどのようにつきあったのだろうか
―隋・唐と近隣諸国の国際関係

＿年＿組＿番 名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

導入

この探究に取り組む前に、隋・唐代のユーラシア東部の国際関係はどのようなものであったか、現時点のあなたの考えを説明しよう。

当時のユーラシア東部の国際関係は である。

HOP（読解）

読解1） 日本はどのような目的で隋・唐と関係を結ぼうとしているだろうか。史料2、5を参考に考えよう。

読解2） 日本はどのような点をアピールし、唐はどう受け止めているだろうか。資料Ａを参考に考えよう。

読解3） 資料Ｂにある、唐、テュルク（突厥）、ウイグルに関わる出来事のうち、関係のある資料の枠どうしを線でつなぎ、その内容がどのように異なっているか、資料を比較しながら、共通点と相違点を挙げよう。

共通点	相違点

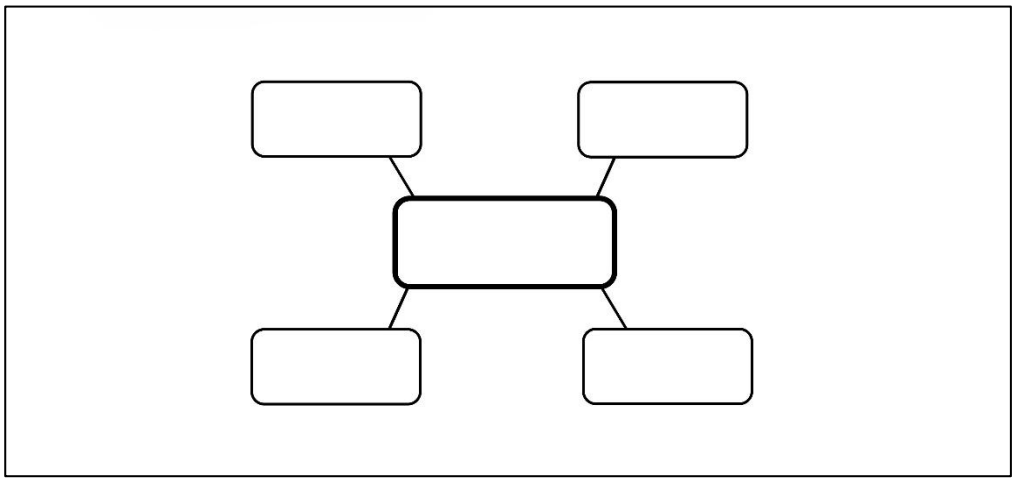
読解4） 唐と遊牧国家の関係は、実際にはどのようなものだったと考えられるだろうか。資料Ｂを参考に考えよう。

STEP（説明・議論）

HOP（読解）での考察やほかの資料も調べて、当時のユーラシア東部の国際関係はどのようなものだったと考えられるかグループで意見交換し、次のページの思考ツールにまとめよう。

＜あなたの意見＞

＜グループの意見＞



ここまでの活動を踏まえて、当時の国際関係にとって最も重要な要素を一つ選び、説明しよう。

JUMP！現代への展望

　このページやこれまでの教科書のなかでみてきた世界各地の歴史から、異なる価値観や文化をもつ国家が共存するための国際秩序のあり方とは、どのようなものだといえるだろうか。ここでの探究の成果も踏まえて、あなたが興味をもった国際関係を一つ選び、どのようなバランスでそれが成り立っているのか考えよう。

振り返り

1）この探究活動を通して、あなたの考えは変わっただろうか。もう一度、隋・唐代のユーラシア東部の国際関係を説明しよう。

当時のユーラシア東部の国際関係は

である。

2）今回の探究活動のなかであなたが意識できた点や、改善できる点があれば書き出そう。

意識できた点・改善できる点